

社会資本総合整備計画 事後評価書 （案）

計画の名称	民間活力を活用した都市公園の再整備（重点）														
計画の期間	令和3年度 ～ 令和5年度 （3年間）					交付対象	神戸市								
計画の目標															
神戸を代表する白砂青松の景観を有する須磨海岸エリア全体の魅力向上を目的に、Park-PFIを活用し、歴史的・文化的景勝の地であり、周辺住民の憩いの場となっている海浜公園の再整備を実施する。 ※上位計画における位置づけ：「神戸市みどりの基本計画」第7章.施策の展開 2.まちのゾーン 方針2-取り組み⑤シンボルとなる公園の魅力向上															
計画の成果目標（定量的指標）															
①公園施設の改修の次年度において、民間事業者が計画する利用者数900千人増の実現を目指す。 ②公園施設の改修の次年度において、駐車台数9万台増の実現を目指す。															
定量的指標の定義及び算定式															
										定量的指標の現況値及び目標値			備考		
										当初現況値 (R2当初)	中間目標値	最終目標値 (R6末)			
① 新水族館の入園者数（＊当初現況値は、平成29、30、令和元年の平均による推測値）										1,100千人	-	2,000千人			
② 駐車場の利用台数（＊当初現況値は、平成29、30年の平均による推測値）										24万台	-	33万台			
全体事業費		合計 (A+B+C)		1,038百万円	A	1,038百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)		0%		
事後評価															
○事後評価の実施体制、実施時期															
事後評価の実施体制										事後評価の実施時期					
										2025/ /					
令和7年度 神戸市建設事業外部評価委員会										公表の方法					
										神戸市ホームページに記載					
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
A-1	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	官民連携型賑わい拠点創出事業		海浜公園再整備（約5ha）	神戸市		R3	R4	R5		280
小計													280		
B 関連社会資本整備事業（該当なし）															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
											R3	R4	R5		
小計															
C 効果促進事業（該当なし）															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
											R3	R4	R5		
小計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する

交付対象事業の効果の発現状況

【整備前】

水族館は昭和62年にリニューアルされて以降、30年以上園地を含めた抜本的な再整備は実施されておらず、設備をはじめとして全体的に老朽化が進み、来園者のニーズに十分にこたえられない状況が生じていた。また今後も持続的かつ安定的に運営していくために、民間活力を取り入れた抜本的な再整備による魅力向上が求められている。（旧水族館の利用者数は年間1,100千人）

【整備後】

今回の整備においてPark-PFI制度を導入し、民間の資金とノウハウを活かすことで、水族館やホテルのほかにレストランやカフェ等幅広いコンテンツの提供が可能となった。園地についても、遊具や園路等の施設が一新されることで、幅広い世代の利用者が公園を楽しめる空間となった。その結果、公園利用者が増加した。（新水族館の利用者数は年間2,133千人）

II 定量的指標の達成状況

指標①：  
公園施設の改修の次年度において、民間事業者が計画する利用者数900千人増の実現を目指す。

最終目標値

2,000千人

目標値と実績値

・ 目標を達成した

最終実績値

2,133千人

指標②：  
公園施設の改修の次年度において、駐車台数9万台増の実現を目指す。

最終目標値

33万台

目標値と実績値

・ 目標を達成した

最終実績値

45万台

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

（必要に応じて記述）

・ 再整備前後に実施した利用実態調査の結果、整備前は「1人」での来訪者が多い傾向にあったが、再整備後は「家族」や「グループ」での訪問者が増え、水族館のみを目的とした観光だけでなく、子育て世代の行楽の場として活用されるようになった。水族館のみを目的とした観光だけでなく、公園内の他の施設もあわせて活用されるようになった。

・ 水族館やホテルだけでなく、園地の改修を一体的に実施したことによって、園地全体の利便性、安全性を高め、公園利用者向けのサービスの充実、地域の活力やにぎわいを創出した。

3. 特記事項（今後の方針等）

・ R3年度は社会資本整備総合交付金事業を使用しているが、R4年度からは社会課題対応型都市公園機能向上促進事業へ移行したため、事業実施期間はR3年度のみである。

・ 今後も引き続き公園の魅力を高め、地域の賑わい創出や魅力向上に寄与するよう、官民連携での公園運営を実施していく。